

宮芳平画文集 野の花として生くる。

目次： はじめに 澤田龍太郎

吾れ、ミレーにならん。——明治期におけるミレー・イメージの一断面として／野地耕一郎

I 章 新潟——原風景、そして画家へ

森鷗外の小説『天寵』の画家／左近充直美

宮芳平と柏崎／松矢国憲

ペン画

II 章 諏訪に生きる

宮芳平が諏訪で育み、残したもの／前田忠史

III 章 信仰と巡礼

聖地巡礼／松矢国憲

素描

『AYUMI』

年譜

文献目録

作品目録